

《佳作》

鏡野中学校一年 片山 希海  
○暑い夏黒雲と共に雷神が金の矢落と  
し空かけ走る

鏡野中学校三年 堀家 美咲  
○台風が窓を激しく叩いてる課題をせ  
よと急かすように

《宇佐見賞》

鏡野中学校三年 福田 珠己  
○夏風が私の髪を通りぬけみんなの頬  
に優しくふれた

俳句の部

〔小学生の部〕

《入選》

大野小学校三年 牧本 清佳  
○すいかわりみぎやひだりをいいながら

《佳作》

鶴喜小学校五年 東横 玲音  
○しんとして花火の音だけ聞こえてる  
南小学校五年 大倉 光瑛

○服ぬぐとくつきり焼けた水着あと

《宇佐見賞》

香々美小学校二年 水嶋 桃花  
○ひまわりは大きいようみたいだね

〔中学生の部〕

《入選》

鏡野中学校一年 宗安 紋歩  
○雷が勉強しろと怒ってる

《佳作》

鏡野中学校一年 牧野 拳大  
○ユニフォーム努力にじます汗と土  
鏡野中学校一年 甲本 茉優  
○秋の夜虫たち出てきて演奏会

《宇佐見賞》

鏡野中学校一年 正影 友花  
○夏休み海がみんなを待っている

川柳の部

〔小学生の部〕

《入選》

上齋原小学校一年 山口 巧  
○せがのびたねあうたんびにおばあちゃん

《佳作》

鶴喜小学校六年 池田 和奏  
○テストの日みごと百点なきそうだ  
鶴喜小学校三年 宗元 優絆  
○カタツムリとおったあとはほうせきだ

《宇佐見賞》

鶴喜小学校六年 吉岡 穂乃花  
○鏡見て今日の自分を思い出す

〔中学生の部〕

《入選》

鏡野中学校三年 三木 穂波  
○「運動の能力」だけC通知表

《佳作》

鏡野中学校二年 小島 奈々  
○ご先祖の話おそわる夏休み  
鏡野中学校一年 山崎 飛鳥  
○参観日まっすぐ上がる私の手

《宇佐見賞》

鏡野中学校一年 安田 朋也  
○セミの声音楽室に鳴りひびく

第十九回 香々美川

文芸選奨入賞作品

短歌部門

《大賞》

美作市 和田眞佐子  
○イベントの津軽三味線みどりなす野  
山に沁みて緑の音となる

《香々美川賞》

美作市 豊福 恭子  
○せせらぎを聞きつつ眠るか小鳥らよ  
小笹の原はしんと闇

《優秀賞》

美作市 出平 朱美  
○山々は緑の濃淡織り成して「我の季ぞ」  
と威張りをるがに

《奨励賞》

兵庫県佐用町 中村千州代  
○幼き日川に遊びし水の香を風の運び  
来今も変はらず

《宇佐見賞》

兵庫県佐用町 坂井はつ子(ハツエ)  
○せまき谷細長き空つねにあり雲ひく  
ければふたげる如くに

俳句部門

《大賞》

岡山市 佐藤 恭子  
○舞ひ立ちて蛭に闇の動きけり

《香々美川賞》

岡山市 毛利 廣子  
○豊の秋川おだやかに合流す

《優秀賞》

鏡野町 高原喜久子  
○ふるさとは作の山裾赤とんぼ

《奨励賞》

津山市 高畑 禎郎  
○風鈴の芭蕉の一句揺れやまず

《宇佐見賞》

鏡野町 岸 喜代子  
○赤紫蘇を洗ふ流れに匂ひ満つ

川柳部門

《大賞》

津山市 藍(ふみ子)  
○川底の石よ川藻かミサイルか

《香々美川賞》

岡山市 山本 美枝  
○川清し美空ひばりを唄おうか

《優秀賞》

真庭市 森谷 桐子(矩子)  
○せせらぎが教えをくれた少年期

《奨励賞》

津山市 藤木 道子  
○道すがら落葉が歌う足のうら

《宇佐見賞》

真庭市 武村 一美  
○古傷はやさしい水の音が好き